公共施設の温室効果ガス排出量について

○温室効果ガス排出量

2022年度 公共施設の温室効果ガス総排出量は17,422ｔ-CO2であり、

前年度の2021年度から791ｔ-CO2減少しました。

（基準年度の2016年度24,516ｔ-CO2より28.9％減）

・電気使用量

公共施設への再生可能エネルギーや環境に配慮した設備の導入、また、

職員によるクールビズやウォームビズ等により、省エネルギーの推進をしていますが、2021年度からは行動制限の緩和による、施設エネルギー量の増加等により、電気使用量が増えています。

・電気事業者の二酸化炭素排出係数

電気事業者(本市契約)の二酸化炭素排出係数は前年度より概ね減少

　 例）四国電力株式会社　基礎排出係数(t-CO2/kWh)

　 0.000550→0.000484

○今後の取組

全庁的な省エネ活動を継続し推進するとともに、エネルギー使用量が前年度より増加した施設等については原因把握に努め、設備の省エネ運転など、使用量の削減に取り組んでいきます。

また、2023年度は丸亀市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改訂を予定しており、2030年度に向けて新たな削減目標を設定し、目標達成のための取組施策の検討を行います。

温室効果ガス排出量の推移、電気使用量の推移は次のページの通りです。

●温室効果ガス排出量、電気使用量の推移

(年度)

(年度)